

海月倶楽部の

海月倶楽部で なにができるのか？

問い合わせ先

〒745-0847 周南市松保町 8-1

TEL/FAX 0834-22-6191



すぐにでも被災地に駆けつけて何か手伝いたい。自分たちの出来ることがあれば…。

仕事中に聞こえてくるラジオのニュースは地震発生当初から震度の大きさ、津波の恐ろしさ、原発事故の対応など、連日緊迫した状態を報じ続けています。

道や橋が壊れて、陸の孤島になっている地域があると聞きます。粉雪の舞う避難所などを映している映像を目にする度に心が痛みます。

東北の人たちは「我慢強い」という報道があります。そういった言葉を聞くと少し安心してしまう心があります。寒くても我慢できるんだ。と…。

でも、寒いものは寒い。電気は来ない。水がない。自分が今の被災者の人たちの立場だったら…。

想像したくないけれど恐ろしい現実だけが重く全身にのしかかってきます。今の私は想像だけですが、実際の被害に遭われている人たちは…。

「義援金」集めへの挑戦

自分達に出来ること… 良い製品を作ること。

海月倶楽部の商品は、JA周南の『菜さい来んさい』新南陽・三田川・下松・光・熊毛の各店舗、国民宿舎大城・ムネスエ事務機・進物の大進「徳山店・岩国店」・こあ・憩いの駅「えんがわ」の各店舗と海月倶楽部でお買い求めいただけます。



とにかく、何かがしたい。そして、思いついたことは。

海月倶楽部で懸命に仕事をする。そして良い製品を造ること。そうすることでより多くのお客様に海月の商品を買って持って帰ってもらい売りを上げる。

この目標が現実のものになるならば、日刊新周南などで紹介してもらっていますが、売り上げの一部が「義援金」というカタチで現地の役に立つ。ということになります。

もうひとつの大きな？考えを言わせて下さい。海月が出荷しているJAなどのお店で買っていただくお客様から「消費税」を払っていただくようになります。結果的に税収が増えるので日本が助かると思うのですが…

海月倶楽部で出来ること。亡くなった多くの人たちのご冥福をお祈りすること。被災された皆さんが一日でも早い生活の安定をお祈りすること。危険な場所で作業をされている皆さんの無事を祈ること。

がんばれ東北。がんばれ福島。がんばれ日本。海月倶楽部も、がんばります。